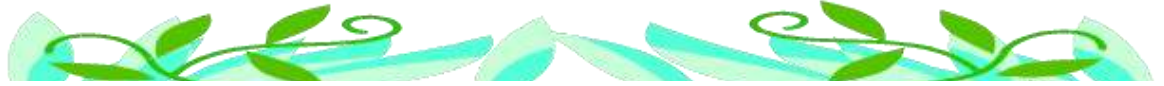


Toyonaka International Friendship Association



TIFA ニュースレター Vol.35

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2016年11月発行



特集

10年をむかえた TIFA 国際子どもキャンプ

TIFA では、子どもの時からいろいろな国の人たちに直接ふれあい、自然に国際的な感覚を身につける機会を提供したい・・・という思いで、小中学校での国際理解授業に講師を派遣したり、先生方と一緒にプログラムを作り上げたりしてきました。

2007年夏、「子どもゆめ基金」からの助成および豊中市からの後援を受けて、豊中市青少年自然の家「わっぱる」（能勢町・宿野）にて【TIFA 国際子どもキャンプ】をはじめました。いろいろな国のお兄さん・お姉さんたちと触れ合える3日間は大変好評で、また参加したい！という希望も多く、主催者としてうれしく思います。



2007年(第1回)の様子



世界の文化に
ふれよう!

いろいろな言葉を知ったり
外国の料理を作って食べ
たり、外国人の先生がお
もしろかった。来年も来た
いです!(中1男子)

新しい友達がたくさ
んできてとても楽しか
った。インドネシアの
アングルンをやった
り、モザンビーク語が
ちゃんと言ってよかつ
たです。(6年女子)



リーダーから母国のお話を聞きます



外国の料理作りに挑戦



モーニング・ヨガ体験

| | |
|----|--------------------------------------|
| 目次 | 国際子どもキャンプ2016を終えて/学校での国際理解プログラム... 2 |
| | 各プログラムからの報告・お知らせ...3、4 |
| | スリランカからの研修生受け入れ/ウズベキスタンプログラム... 5 |
| | ネパールの女性と子どもたちのために...6、7 |
| | お知らせ・会員募集... 8 |

<特集> 子どもたちのための国際理解プログラム

キャンプ2016を終えて 10回目の今年のキャンプは、定員いっぱい81人の申込みがあり、13カ国22人の留学生・大学生リーダーとともに楽しく充実した3日間を過ごしました。子どもたちは世界の人と文化への敬愛と親しみを持ってくれたことでしょう。みなさんからの声をご紹介します。

外国人リーダーのコメント

初めは緊張していましたが、最初の川遊びで子どもたちとすぐに仲良くなりました。子どもたちは朝から夜まで元気でビックリ！最後の日、教えてあげたポルトガル語の挨拶をちゃんとみんなの前でしてくれて嬉しかった。さよならの時はさみしかったけど、本当に楽しい3日間でした。オブリガード（ありがとう）！（ブラジル フェリッペ）



「わっぱる」所長 中川永次さんより

TIFA 国際子どもキャンプ10周年を迎えて

TIFAの夏季事業を豊中市立青少年自然の家わっぱるにて、10年目を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。自然の家わっぱるでは、野外活動をととして活動の場を提供し、生き生きとしたプログラムの展開に協力させていただきました。青少年にとって素晴らしいわっぱるを目指し、どのようなフィールドやプログラムがいいのかなどを考え、子どもたちの喜び、満足の姿を見ながらわっぱるも頑張りたいと思っています。国際交流を取り巻く環境が大きく変化している中、益々ご活躍されることを願っております。



保護者の声

小学校4年生男子の母です。今年初めてキャンプに参加しました。自然に世界の文化・言語に触れ、それが観念などではなく実際の人とのつながりを通して学べた本当に大切な時間となったようです。来年も絶対参加するぞ〜と、今から来年を楽しみにしております。

学校での国際理解プログラムに協力しています

学校からの依頼やTIFAからの提案により、幼稚園～高校まで、外国人講師を派遣し、授業や放課後教室などで自国の文化や生活について紹介しています。2016年度前期は、豊中市立第11中学校と第2中学校の1年生各々のクラスに、異なる国の講師を派遣しました。講師は、それぞれパワーポイントでわかりやすい資料をつくり、民族衣装や楽器を持参するなど、楽しい時間のため工夫をしていました。また生徒たちは事前に調べ学習をし、講師の話も熱心に聞いてくれました。質問タイムも積極的に手を挙げる子どもが多いです。今後、第2中学校と第13中学校の国際理解授業に協力する予定です。



豊中市立第二中学校 上田 典子校長先生より

本校は、2012年ユネスコスクールに加盟して以来、国際教育として国内外の学校と交流を深めたり、防災や環境問題についての取り組みをしてきました。その中の一つに、毎年1年生が総合の時間等を利用し、国際理解教育をおこなっています。今年度もTIFAさんから講師を派遣していただきました。交流する前には、自分たちでその国について調べ学習をします。今年度はインドネシア、ネパール、イラン、中国、イギリスの5か国の方に来ていただき、文化などを教えてもらったり、自分たちで調べたことを発表したりして交流しました。また、1年のボランティア活動では「外国支援」のグループで、外国の料理をいっしょに作ったり、「募金活動」のグループでは、ネパール大震災支援の募金活動を行う予定です。いずれもTIFAさんのご協力のもと行っています。



イエンさん（ベトナム）より

生徒たちがとても詳しくベトナムについて調べてとてもきれいな新聞をつくっていてびっくりしました。また、授業もメモを取りながらしっかりきいてくれてうれしかったです。「ベトナムにもお年玉はありますか？」という質問は、子どもらしくてほほえましかったです。



TIFA 多文化子育てサロン

日本に来たばかりの外国人は、言葉や習慣が異なるため、不安な思いで生活しています。特に就園前の子ども子育て中は、外国人日本人を問わず母子で孤立しがちです。少しの時間でも子育てサロンで気分転換してほしいものです。第1・3木曜の月2回とよなか国際交流センターで、手芸や手遊び、手作りおもちゃなどを行っています。現在は南スーダンやインドネシア、ナイジェリア、ネパールの親子が参加してくれています。



TIFA キッチン

会員以外の方にサパナを知ってもらいたいという思いもあり、サパナのシェフにお願いして料理交流会を開いています。外国料理も日本人の口に合うように作っていただきます。今年度はベトナム人シェフ、イエンさんにお願いしました。今までにバティさんのネパール料理、『サパナで和食』で人気の和田さんの日本料理などをしました。



ホストファミリー

ホストファミリープロジェクトでは主に大阪大学の留学生を年2回、春と秋に受け入れています。

このプログラムは交流が目的で、宿泊は伴いません。ホストファミリーを何回も引き受けているベテランの会員から、初めて引き受けた会員まで、それぞれが日本での留学生活に不安を持っている学生たちのよきサポーターとして、家族ぐるみで交流を楽しんでいます。

最近ではSNSなどで情報もすぐに手に入り、外国はとても身近な存在ですが、知ってるつもりでも留学生と交流することによって、また新たな発見が得られることも多々あります。留学生との交流、ホストファミリーに興味のある方は担当までご一報くださいませ。



TIFA グローバルサロン

●6月26日(日)「パキスタン DAY～パキスタンを丸ごと楽しもう～」を開催しました。国の現状があまり知られていないパキスタン。阪大留学生のサダムさんやガフル夫妻から国のお話を聞いたり、元アナウンサーの石川けい子さんからパキスタンの昔話の朗読をしていただきました。民族衣装を着たりデザートや飲み物をいただいて、パキスタンを丸ごと楽しんで、パキスタンの現在を垣間見ました。



●9月4日(日)「外国にルーツのある子どもたちは日頃からストレスと闘っている。言葉・心・制度の壁が立ふさがる。多様な文化・言語を知り互いに理解しあうことが地域に住む私たちの生活や文化を豊かにする。「どの子どもみんな地域の宝」との思いを真摯に話されました。

日本語プログラム

●ナイト漢字クラス 毎週火曜 19:30～21:00

●日本語交流サロン 毎週金曜 19:30～21:00

日本語の支援が必要な人々に対して、様々な角度から日本語の習得を支援し、交流しています。学習者のニーズに応じて、グループ・個別で対応しています。毎年とよなか国際交流センターで行われる発表会に学習者、ボランティアで参加しています。ボランティアも募集しています。ご希望の方はご連絡ください。



バザー

留学生・在住外国人のための生活必需品のリサイクルバザーを、大阪大学国際交流会館で毎年4月に開催しています。また、豊中市立生活情報センター「くらしかん」で年3回ほど開催されるリユースバザー等にも出店するほか、第3土曜日のサパナ・マーケットやサパナ常設の「蚤の市」にてリユース品を安く販売しています。TIFA会員のエネルギーを結集して在住外国人支援のために活動しています。



各プログラムからの報告・お知らせ

TIFA セミナー

2016年6月19日(日) 講演会「イラク・シリア避難民の現状～玉本英子さんが見てきた女性と子どもたち」を催しました。参加者46人。

現地取材を終えたばかりのアジアンプレスのジャーナリスト玉本英子さんから、益々混迷を深めるイラク、シリアの状況を、女性や子どもたちを中心に映像を見ながらお話を伺いました。中でもISによるクルド系ヤズディ教徒への残虐極まりない行為に怒りと悲しみに胸が締め付けられる思いでした。「遠い国のことで我々と関係ないと思わず、他の国や地域の人達のことを考え、私たち皆が心を寄せることが争いを防ぎきっかけになる」と玉本さんが言われたことに皆さん共感しました。

*次回セミナーは「外国人家事労働者」問題を2017年2月に予定しています。



「肉食が及ぼす環境と健康問題について」

環境井戸端会議より

国連食糧農業機関 (FAO) の“家畜による環境への影響”という報告書には「畜産による環境への負担を半減しなければならない」と警告が発せられています。畜産は人為的に生じる、二酸化炭素の23倍強力なメタンガスの37%を占め、この放出源の多くは反芻動物の消化器系からもたらされています。さらに有害な温室効果ガスの亜酸化窒素は二酸化炭素の地球温暖化指数の296倍に匹敵し、このほとんどの原因は家畜動物達の糞便によるものです。

また、牛肉1kg生産するには10kgの穀物が餌として必要になり、本来人間の食料が家畜を太らせるために消費されます。肉の消費を抑えることで世界から飢餓をなくすことが出来ます。そして、畜産は熱帯雨林の破壊、水源の汚染、土壌の侵食、耕作地の減少、生物多様性損失など環境破壊という法外な代償を要求します。

日本の「畜産草地研究所」によれば、たった1kgの牛肉を食べることが249km(高速で豊中～西浜松間)の距離を時速80kmで3時間走行した普通車から産出された温室効果ガスの量に匹敵すると発表しています。約10年の歳月をかけ、米国と中国、英国の政府共同で行われた歴史上最大の栄養調査報告書では、動物性タンパク質のカゼインは発ガンと増ガン物質であると結論づけています。詳しくは、TIFA ホームページの井戸端会議内に「くらしかん」で発表した全文がUPされていますので、ぜひお読みください。(久保 光)

ワールドクッカー

地域に住む外国人の方たちを講師に招き、母国の家庭料理と一緒に作り、「食」を通してその国の文化を体験する活動をしています。

本年度は、7月にイギリス・ポーツマス出身のソフィア・エルワリさんに講師をお願いし、「イギリスの家庭料理とお話」を開催。エリザベス女王の戴冠60周年記念で饗された、コロネーションチキンサラダなど、イギリス伝統料理の手ほどきと、写真を交えてのお国の紹介をして頂きました。イギリスのそれぞれの地方の特徴や観光地など、居ながらにして美味しいお料理と共に、イギリス一周の旅を楽しみました。

また、12月10日(土)には、「アフタヌーンティーとお話」を、豊中市立生活情報センターくらしかんで開催します。今回は、本場のアフタヌーンティーのクリスマスバージョンを、再びソフィアさんと一緒にお楽しみいただきます。詳細はチラシやTIFAのホームページをご覧ください。



カフェ・サパナより

いつも CAFE SAPANA を応援してくださってありがとうございます。おかげさまでサパナは、4年半を迎えました。

平日のランチタイムに日替りで各国家庭料理を楽しんで頂けます。世界の味をパックしたお弁当も好評です。(ご注文は TEL 06-6840-1014 まで)

今年、サパナに関わってくれている外国人の方は15カ国 20人です。中国、台湾、韓国、ネパール、バングラデシュ、インド、パキスタン、アフガニスタン、イラン、インドネシア、ベトナム、ペルー、イギリス、フィリピン、タイ。

また、土日や平日夕方など、サパナを会議やイベントなどでも使っていただけますので、ご興味のあるかたは、是非ご相談くださいね。

これからも情報発信地として、また、国際交流の場として、発展していきたいと思っています。応援、どうぞよろしくお祈りします！



テレビ取材を受けました！

海外との交流プログラム

ウズベキスタンプログラム

2011年から始めた「ウズベキスタンの子ども達のための教育支援」活動も今年で5年になりひとまず目標が達成されたとひと息入れているところです。2013年に初めて来日したアワズジョン(ジョン)君は今年で4度目の来日です。2015年に招待したデリショット(ショッド)君は2度目の夏です。二人とも来日するたびにひと回り大きくなっているのでTIFAの方もびっくりされています。二人はもうすっかりTIFAの一員としての自覚を持ってジョン君は桜塚高校でショッド君は十三中学校で日本の子ども達との異文化理解に活躍しています。ウズベキスタンに帰った後も後輩達の指導も十分こなせるだけの力をつけたと安心している次第です。ご協力ならびに応援してくださいました皆さまに心からお礼申し上げます。

来年こそ日本の小中高校生をウズベキスタンに連れて行き、ウズベキスタンの子ども達や人々と交流する「旅」を実現したいと考えています。

(小池敏朗)



リシタンの日本語学級にて

▶▶▶ ジョン君、ショッド君の日本滞在記 ◀◀◀



今年の日本は、前よりとっても楽しい思い出がいっぱいできました。まず、子どもキャンプでは、今年も子どもたちと楽しい時間をすごしました。また桜塚高校で体験入学して、文化祭やクラブ活動に参加できて良い経験になりました。高校ではたくさんの友達できました。先生方もやさしく指導してくれて、うれしかったです。将来、日本に留学して暮らしたいです。(アワズジョン)

今年とは二回目の日本です。去年よりもたくさん友達できてよかったです。第13中学校に入学させてもらって、バスケ部や吹奏楽部に参加できてよかったです。友達に日本の事をたくさん教えてもらいました。蛍池人權まちづくりセンターの海の合宿で日本海に行った時に、ウズベキスタンでも海があったらいいなと思いました。これからもがんばって勉強して、来年日本の高校に留学したいです。(デリショッド)



スリランカの日本語学校生を招聘 (10月11日～10月20日)

大阪大学で博士号をとり、TIFAの日本語プログラムの講師やアドバイザーをしてくださっていたサマンティカさんが、スリランカの大学や日本語学校での教え子7人をつれて来日されました。彼女たちは、日本語が好きで学び、日本の文化に関心を持っていますので、TIFAが用意したプログラムを楽しんでくれています。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



日本舞踊体験



ホームステイ先の皆さんと

皆さん、お久しぶりです。お世話になっています。サマンティカです。この度スリランカの学生をホームステイプログラムに招いていただき、心から感謝しています。世界と日本の距離をまたまた短縮してくれたTIFAならではのダイナミックなプログラムです。これからも様々な交流をしたいです。よろしくお願ひします。(サマンティカ・ロクガマゲ)

10日間のスケジュール

- ・ホームステイ(9泊)
- ・日本文化体験
(日本舞踊・茶道・書道・生け花・折紙など)
- ・日本語研修
- ・料理交流
- ・京都、奈良観光 など

ネパールの女性と子どもたちのために

ドダウリ村より

ドダウリプログラム

支援をはじめた 20 年前は、なんとなくうす暗くて、道を歩いている人も少ない小さな村でしたが、家が増え、電気が来て（1日8時間程度ですが）村が、きれいになってきました。

キルト工芸

3年前、キルト専門家の吉川さんの指導で始めたキルト工芸は、随分上達してきました。キルターのみなさんは、毎日トレーニングセンターへやってきて、おしゃべりしながら、たのしく制作に打ち込んでおり、家族の生活を支えるのに大変役立っています。作ったものの数で買い取り額を決めているので、たくさん作る事がメインになっているところがあり、デザイン・色使いなどをもっと工夫するように話しています。買い取ってきたものを日本で販売するので、もっと多くの人達の理解を得て、販売機会を増やす必要があります。



製パン製菓プログラム

今年から新しく、製パン・製菓プログラムが加わり、日本から支援とアドバイスをを行いながら、関わっている女性の自立と村の栄養改善を目指しています。9月、販売とマネジメント指導に、中園さんを現地へ派遣しました。お茶を飲み、ドーナツを食べる店も開き、大型オーブンでパンの製造も始めるようです。引き続き



ドダウリ子どもの奨学金プログラム

今年の10月に3年目を迎える子どもの奨学金プログラムは順調で、10名とも元気で学校へ通っています。学年末に出席状況・成績などをそれぞれの支援者の方々に報告させていただいているとおり、良い成績で続けています。現実には、10名だけでなく、もっと多くの子どもの状況にも目を向ける必要を感じ、来年度は子ども達全員に週1回でも給食として、製パンプログラムで作ったものと牛



ハッピーガールズホームの子どもたち

ネパール・シンドウリ郡の Happy Girls Home（子どもの家）を終了してもうすぐ1年半になります。里親の皆様のご支援を受けて、7人の子どもたちは皆、新しい環境で元気に通学し、優秀な成績で進級したとの報告を先生より受けました。写真を見ると、みんな見違えるように女性らしくなっていて驚かされます。（この年頃の女の子は変化が早いですね！）今年も年末頃に現地へ出向き、家庭訪問をする予定です。子ども達が頑張って勉強を続けるかぎり、卒業資格試験（SLC）を終えるまで個別に教育支援を続けることになります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。（筒井百合子）



TIFA 世界の女性と子ども支援基金

お寄せいただきました支援金は、ネパール等の女性たちの自立支援や子どもたちの教育支援のために大切にに使わせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

【送金先】郵便振替

口座番号 00910-8-308062

加入者名: TIFA世界の女性と子ども支援基金

（ゆうちょ銀行以外から送金される場合は事務局にお問合せください）

ご協力いただいた皆様には、ニュースレター等にて報告をお届けいたします。

ネパールの女性と子どもたちのために

ブンガマティ・ファルシドール村より

2015年4月のネパール大地震から支援をしていたブンガマティ・ファルシドール地区において、ニット製作のトレーニング及びニット製作が軌道に乗りつつあります。被災した人々がニット製品を作り、手間賃が復興に向けた手助けになっています。また、日本での利益は直接地域の人々の声を聴き、地域に役立つ簡易水道の修復などに使われています。ニットを作っている人からは、内職による仕事は場所も機械もいらないため、被災し家を失った私たちには、どこでも、いつでも出来るとても良い仕事だと言って感謝されました。多くの人々から自立復興を目指す強い意志が感じられました。

里親さんによる教育支援のおかげで、多くの子どもたちは元気に学校へ行っていました。大半の子どもたちの家は倒壊し、手作りの仮設住宅で暮らしています。支援がなければ学校を辞めなければならない子どももいました。今回、一番気になった子どもは、母親を目の前で亡くした女の子です。未だショックから立ち直っていない様子でした。親戚の人がこの家族の面倒を見ており、教育支援が必要だと言っていました。これからも皆様のご支援・ご協力をお願いします。(海野バティ)



サクー村より

ネパール自立会の活動は早や6年になります。活動は2本の柱からなり、一つは農村女性の自立支援活動、もう一つは教育支援活動です。活動内容は、前者はダカ織、ミシン作業が中心で、後者は里親制度を活用し、里子生徒への支援と幼少学年から6年生までを対象とした給食支援を行っています。振り返ると、優れた人材の確保の難しさや子供の生活の厳しさを受け入れる困難さを経験してきました。山あり谷ありの年月を思うとき、何よりも笑顔で迎えてくれる関係ができ、言葉を超越して感じあえるものができたように思います。

丘の上の学校はカラフルに変化し、10年生まで収容できる校舎が建ちました。我々の支援が、より底辺の子どもへの支援となるよう進めています。一方、センターで働く女性は6名で、4人が中心になり、ダカ織とブラウスを作成しています。ネパールの地で販売していく努力をしています。サクー村の多くの人にこの活動を知ってもらい、人材を増やし、彼女たちが自信をつけ、周りの人を巻き込んでいくような動きを示していくことを目標にしています。以下、写真で、当地の様子をご覧ください。

(島本真知子)



One-Stop Cafe

いつでも なんでも 相談OK!

留学生・在住外国人のための ワンストップ・カフェ

開催日：月～金曜日（祝日を除く）14時～17時

場所：カフェ・サパナ（豊中市本町3-3-3）相談料：無料

連絡先：TIFA事務局 TEL/FAX 06-6840-1014 メール：tifa99@nifty.ne.jp

いつでも気軽に来てください。まずはお茶でも飲みながら話しましょう。

（2016年度 中島記念国際交流財団助成事業）



Welcome to Cafe SAPANA!

お知らせ掲示板 参加者募集!

- 環境井戸端会議 毎月第3金曜日 14:00～15:30
カフェ・サパナにて
 - *多文化子育てサロン 毎月第1,3木曜 10:00～12:00
 - *ナイト漢字クラス 毎週火曜 19:30～21:00
 - *日本語交流サロン 毎週金曜 19:30～21:00
 - サパナマーケット 毎月第3土曜 10:00～15:00
 - *英会話 レッツ・コミュニケーション 毎週火曜日 午前
元気の出る英会話 毎週木曜日 午前
（*印はとよなか国際交流センターにて開催）
- くわしくは TIFA 事務局にお問合せください。

TIFAの活動 2016年1月～10月（抜粋）

- 1/23(土) 新年交流会
- 2/13(土) くらしかんバザー
- 2/21(日) 北緑丘小学校 国際理解教室
- 2/25(木) ネパール女性たちの手仕事(展示・頒布)と活動報告
- 3/12(土) TIFA セミナー「海を渡ってくる女性労働者」
- 4/16(土) 留学生のためのバザー
- 4/23(土) ネパール支援報告会～ネパール大震災から1年
- 4/29(金)～5/29(日) 江坂クレヨンハウスにてキルト展示販売
- 5/14(土) おおさかボランティア縁日(南堀江・萬福寺)
- 5/27(金)～6/1(水) サクー村・農村女性の手仕事展(ぼんまい)
- 6/11(土) くらしかんバザー
- 6/13(土) TIFA キッチン「ベトナム料理へようこそ」
- 6/19(日) TIFA セミナー「シリア難民～女性・子どもの現状」
- 6/26(日) TIFA グローバルサロン
「パキスタン DAY ～パキстанを丸ごと楽しもう～」
- 7/9(土) TIFA ワールドクッカー「イギリスの家庭料理とお話」
- 8/6・7(土・日) 豊中まつり
- 8/21(日)～23(火) TIFA 国際子どもキャンプ(能勢町 わっぱる)
- 9/4(日) TIFA グローバルサロン「外国にルーツをもつ子どもたちの現状と地域でできる支援」
- 9/4(日)～11/29(火) TIFA にほんごボランティア研修 全9回
- 10/11(火)～20(金)スリランカからの研修ツアー受け入れ
- 10/23(日) 大阪ボランティア縁日(南堀江 萬福寺)

入会・ご寄付のご案内 Welcome!

入会方法等くわしくは事務局にお問合せください。

- 正会員...入会金 2000円 年会費 6000円(月 500円)
TIFA で実際に活動を行う会員です。新しい活動をした方も歓迎します。
 - 賛助会員...年会費 一口 3000円
TIFA の活動を資金面で支援していただく会員です。
ニュースレター等で報告をお送りします。
 - 寄付...随時、金額は自由です。
特定の活動へのご支援も歓迎いたします。
- 【振込先】郵便振替口座番号 00940-3-309179
加入者名：特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

発行：特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA（国際交流の会とよなか）は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0021 大阪府豊中市本町3-3-3
Tel/Fax: 06-6840-1014
E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
お問合せ・お申込みは 月～金曜 09:30～17:00
ホームページ: <http://tifa-toyonaka.org/>

